

まちづくりフォーラム アンケート結果

回答数 21

① 居住地

区分	下宿	旭が丘	中里	野塩	下清戸	中清戸	上清戸	元町
件数	1	1	5	2	1	4	1	1

区分	松山	竹丘	梅園	市外
件数	1	1	2	1

② 年齢

区分	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
件数	0	1	1	3	6	2	4	4

③ 性別

区分	男	女	無回答
件数	9	11	1

④-1 まちづくりフォーラムはいかがでしたか

区分	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらともいえない
件数	8	9	2	1	1

④-2 上記を選択した理由

満足と回答した方

- 1) 特に平和の日の制定の提言がよかった
- 2) 詳細な説明がなされて、分かりやすかった。
- 3) 初めての参加です。
途中、休会もあったようで、清瀬市が、どういう考え、この”まちづくり委員会”を立ち上げたのかもわからないが、市民の声を掬い取る機関のひとつとして、市民と市が、一緒になって継続していく必要がある委員会だと分かったから。
- 4) 上村さんの平和提言が秀逸！今この時、実にタイムリー！
- 5) 今年のまちづくり委員の皆さまは、今までのどの年よりも、まとまっている様に見えました。3年ぶりという事もあるかも知れませんが、とても効率も良く取り組んでいただけてる点も良かったです。
- 6) 市を盛り上げていこうと考えていらっしゃる委員の方々、OBの方々の熱い気持ちをとても感じられる会でした。お招きいただきありがとうございました。

やや満足と回答した方

- 1) 分科会の説明・報告はもう少し簡潔に
- 2) まだ市民の生き生きとした活動の姿が見えない
- 3) 一つの発表があまり長くなく、まとまっていたのでよかったです。
- 4) 委員会の現状がわかっただけでなく、聴衆の考え聞けたから。
- 5) 委員会がどんな趣旨で存在し、どのように運営されているのか、その在り方の評価など、そもそもの話を聞けた。どんな提案があったのかを聞く場と思っていたので、期待と違ったが、期待以上の内容もあった。
- 6) 質問したいことが聞けた
- 7) プロジェクターの字が見えない

やや不満と回答した方

- 1) 今年の平和祈念フェスタは12月では
- 2) 初めて参加させていただきましたが、各グループの役割、活動内容がそもそもわからなかったのも、言葉だけの説明のみならず、資料にて配布していただけるとありがたかったです。

不満と回答した方

- 1) 市長への提言として採用されたのが1件というのは、少ないと思ったので。

どちらともいえないと回答した方

⑤-1 運用条例調査発表について

区 分	件数
理解することが出来た。	12
理解することが出来なかった。	1
どちらとも言えない。	7
無回答	1

⑤-2 上記を選択した理由

理解することが出来たと回答した方

- 1) 元々が分かりづらい内容
- 2) 丁寧に説明されていたから
- 3) プレゼンを聞いて理解できたと感じている。
- 4) 他市、先進地との比較ももう少し欲しかった。
- 5) 条例の運営状況に関する報告が分かりやすくまとめられていた。

- 6) 運用条例調査はとても大事だと思う！
 条例があるにもかかわらず、・公募委員のいない ・会議を公開していない ・
 会議録を公表していない 清瀬市の附属機関は、その条例を軽視しているのでは
 ないか？
 専門性や個人情報等を盾に、条例に従わなくてもいいと考えているのならば、なお
 の事、その旨を市報等で知らせるべきだと思う。
 努力していない附属機関の名称は、公表すべきでは？ましてや、そこに経費（公
 費）が費やされているのなら。
- 7) 全てのことは課題分析、現状把握からは始まるので、皆さんで実態をしっかり把
 握する。実際の分析を行うチームがあったというのが、とても素敵な取り組みだ
 と思います！

理解することが出来なかったと回答した方

- 1) ほとんどが評価基準がなく単調な報告で残念でした。また、質問にもありましたが、
 資料に誤解を招くような表記があり紛らわしく、もう少し報告内容を精査し
 た上で発表して欲しかったです。

どちらとも言えない回答した方

- 1) 委員会メンバーの身に余る仕事ではないか？
 2) 条例については、把握できるようもっと読み込みます。

⑥-1 2022市民提案内容について

区 分	件数
興味・関心が有るものだった。	18
興味・関心が無いものだった。	0
どちらとも言えない	3

⑥-2 上記を選択した理由

興味・関心が有ると回答した方

- 1) まちづくりについて考えている
 2) 清瀬平和の日をぜひ実現して欲しい。
 3) それぞれ大事なこと。委員会だけでは消化不良ない印象。
 4) 市民提案11 市報に動植物を共有する がよかった。
 5) 清瀬市民の皆さまの考え、思いの一端に触れる事が出来たから。
 6) 市民だれもが市に対して、いいたいこと、注文したいことはあるはず。
 7) どう進行するか、限られた時間でどう審議するかは大事なことだと思います！
 8) これだけ検討されるのであれば、もっと日常的にある市民の要望や悩みが投稿さ
 れるよう、ホームページやSNSで間口を広げたり問い合わせしやすくできないかと思
 いました。

興味・関心が無いと回答した方

どちらとも言えないと回答した方

- 1) 配布されていた提案の内容も紹介いただけると良かった。プロセスの話だけだと評価が難しい。
- 2) 市民提案が増えることで処理が追いつかず大変とありましたが、市民提案が増えないと市民が何を思い、何を必要としているのかなどがわからないため、市民提案が増えることは逆にありがたいことと思います。また、提案精査の効率化を図ることは委員会（全体）の役割ではないかと思います。例えば、フローチャート使用やグループの垣根を越えての精査、ITを利用した委員のコミュニケーションの活性化等。

⑦-1市長提言発表について

区 分	件数
理解することが出来た。	15
理解することが出来なかった。	0
どちらとも言えない。	2
無回答	4

⑦-2 上記を選択した理由

理解することが出来たと回答した方

- 1) すばらしい提案に期待しています。
- 2) プレゼン内容は理解できたが、なぜこれが市長提案かは分からなかった。なので、この市長提案に賛成とはいえない状況。
- 3) 良かったと思うが、「40件中1件だけ？」という気がしました。2-3件あっても良いと思います。
- 4) 継続と担当部署案件に分けて対応しているところが良い。
- 5) 発表者の説明が良かった！
清瀬市は、以前より、平和の塔や非核平和宣言都市の塔などで、平和を希求してきた。そして今、この時代だからこそ、清瀬市、市民として、改めて、平和を考えるきっかけが、必要だと思います。
- 6) 市長提言発表、内容とても良かったです！必ず進むことと思います！頑張ってください！
- 7) どのような審議が行われていたか、明確になりました。今後の改善に期待します。

理解することが出来なかったと回答した方

どちらとも言えないと回答した方

- 1) 発表、理解のためには、もっと時間をかけなければ。

⑧ 今後の、まちづくり委員会において、ご要望やご質問、改善点、期待することなど

- 1) 初めて参加させていただきました。しっかり骨組が出来て、活動も頑張ってお下さっていて感謝いたします。
今後は市民（生産者、事業者、医療従事者などを含め）いくつかのグループが出来（例えば平和、健康、ごみ、みどり・土・水などの自然、景観…etc）、各々の活動を発表できるフォーラムが期待されます。
日常、気の合う者で何か環境に関する事等、小さな行動をしてから「これ、まちづくり？」というのも有りかなと思いました。
ありがとうございました。
- 2) 追跡してください。
- 3) アンケートは紙がありがたいです。
- 4) 市長提案には、客観的な根拠やデータに基づき、理解できるものにしてもらいたい。平和は共通善ともいえる大きな概念で否定しにくい提案なので、市民が本当にどうも思っているのか、表出しない声も拾う努力が求められる。私は反対とはいわないが、なぜ今、清瀬が？他にテーマがあるのでは？と感じる。参加者の意見にもあったように啓発が大事だし、市民が納得、行動、参加できる提案をお願いしたい。
- 5) アンケートの設問の、回答が、理解できた、理解できなかった、というのは、答えにくい。もう少し答える側に寄り添ってほしい。
- 6) 活動ありがとうございます。
一度、活動なさってる所を傍聴させていただき皆さんが積極的に発言なさっている姿を拝見させていただきました。実際、自分の困っている状況に対して提案し今後どのようになるのか知りたいですので、結果等をホームページやお知らせいただけるとありがたいです。
- 7) 市民からの提案を募集するだけしておいて、継続審議の数が多すぎると思う。時間が無くて審議できないのなら、募集を一旦打ち切り、すべての提案の審議結果を公表した後に、改めて募集するべきだと思う。
- 8) 継続審議が多く残っているが、引き続きご検討してください。
- 9) 市民提案の継続審議数や、提案受付が通年になった事などを考えても、一期2年では、中途半端になるのではないのでしょうか？
条例の運営状況についても、現状を調べただけで終わってしまう事を危惧します。
休会後の再開との事なので、都合のつくメンバーは、もう少し、力を奮っていただいてもいいと思う。
- 10) 各地域ごとの、お祭りをどんな手立てで復興させるか？転入間もない家庭が多数を占める地域で若手夫婦のオトコたちを引き込むための工夫。若いお母さんは、小学校である程度、組織化されている。
- 11) 私も、以前まちづくり委員をしていました。
自分の仕事をしながら、委員をする大変さはとてもよくわかります！
専門的な地検や情報がないと、審議にも時間がかかってしまうことも多いと思います！事務局の市役所スタッフだけでなく、様々な方の応援体制が取れるといいですね！
- 12) もっとこの委員会さんの活動が、住民に伝わるよう市の広報があるべきだなと思いました。平和活動については、私も広島出身なので、ぜひ広がって欲しいと思います。応援しますし、子どもたちにも体感してほしいと思います。

- 13) これまで15年間まちづくり委員会が運営されてきたと聞いて活動の遅さに愕然としました。まちづくり委員会が発足し、その後より良いまちに本当になっているのか甚だ疑問に思いました。
また、まちづくり委員会の知名度が低く全く市民に浸透しておらず、開催イベントも人が集まらず中止になったりと、まちづくり委員会への力の入れ具合が足りないと感じ、まちづくり委員会自体が活性化していない印象を受けました。
さらに、やはり市民の高齢化が進む中で、若い人たちを取り込んでいかなければ地域の発展はないと思っています。例えば、委員構成の半分を40代以下30代以下に限定して構成し若い人の意見や力も積極的に取り入れていく。そうすることで、まちづくりに関心を持つ若い世代が増え、様々なアイデアや市民提案も増え、まちづくりも委員会も活性化していくのではないかと思います。
もっと様々な団体や企業を巻き込んで、地域も委員会も発展していったらいいと思っています。
- 14) 提案や提言をしても実行する気がないので無駄なことをしている。「まちづくり基本条例」の精神を実行しなければならない。市民が主人公である。市長の考えを問う。